

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIROキッズ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月5日		令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和8年2月5日		令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭的な雰囲気なので、利用者(子どもさん)はリラックスできる居場所として過ごしています。	利用者(子どもさん)がリラックスできるように、関わっています。ルールが少しゆるやかなので、利用者(子どもさん)ものびのびできます。ゆるやかではありますが、叩くことや、利用者(子どもさん)本人や周りの利用者(子どもさん)が危なくなる、やっではないけなことは指導しています。	引き続き、家庭的なあたたかい雰囲気を大切にしていきたいです。お陰様でたくさん利用者(子どもさん)が利用してくださっています。職員もよく頑張っており、皆さんのお気持ちに応えていきたいです。
2	楽しく過ごすことができる場所です。	利用者(子どもさん)が楽しめるように、外遊び、工作を勧めています。また、利用者(子どもさん)がやりたいリクエストにできる範囲で応えています。	引き続き、利用者(子どもさん)が楽しめることを活動内容に組み込んでいきます。
3	月に2回、土曜日にイベントを準備しています。	天候が良く、外の活動が可能な場合には、公園などに積極的に出かけるようにしています。帽子、水筒、タオルはいつも持って行くようにしていて、帽子を被りたくない利用者(子どもさん)もいらしゃいますが、熱中症の危険を伝えながら被るように促しています。	引き続き 土曜日にイベントを予定して、利用者(子どもさん)が楽しんで活動できる時間を提供していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者(子どもさん)の発達状況や課題について、保護者様との共通理解を進めていきます。	職員一人一人、利用者(子どもさん)のことを考えて良く関わっています。もう少し、支援の大きな方向を揃えて職員間でも共通理解を深められればと思います。	HIROキッズの職員も、ステップアップしてきました。引き続き、利用者(子どもさん)の特性を踏まえて支援の方法を話し合っ方針を出して支援していきたいです。
2	保護者会、茶話会の開催が少ないです。	保護者会、茶話会の開催が少ないため、保護者様同士が交流する機会の提供がなかなかできていません。保護者様も日頃お仕事で忙しいですが、仕事終わりの夕方の利用者(子どもさん)が帰る時間帯に茶話会を設定して、少しずつ交流の機会を増やしていきます。	定期的に茶話会を開催していけるように努めます。
3	構造化された空間、より適切な情報伝達の手段を検討中です。	空間として、物の配置などをもう少し工夫できればと考えています。	活動で使うおもちゃなどの配置を工夫します。絵カードやパネルを用いて視覚的により適切な情報伝達になるよう改善に取り組み始めています。